



Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.

2009年3月10日

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

【報道資料】

**チェック・ポイント、業界初の Software Blade アーキテクチャと
最新セキュリティ・ゲートウェイ、チェック・ポイント R70 を発表
革新的な Software Blade アーキテクチャの採用と、侵入防御要件を完備した
新たな IPS Software Blade の実装で、包括的なネットワーク・セキュリティを拡張**

ゲートウェイからエンドポイントまでの包括的セキュリティを提供するチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社(本社:東京都新宿区、代表:代表取締役社長 杉山隆弘)は本日、セキュリティ・ゲートウェイの最新バージョン Check Point R70 を発表しました。本製品では、業界初となる Software Blade アーキテクチャを採用し、企業規模の大小を問わずセキュリティ・ニーズに包括的かつ柔軟に対応でき、モジュラ化された必要な機能とパフォーマンスを集中的に管理が行える機能により、容易な導入・管理、コスト効果に優れた高度な拡張性を兼ね備えています。また、Check Point R70 ではセキュリティ、パフォーマンスおよび管理のすべてで強化された IPS Software Blade が組み込まれ、新たな概念の侵入防御機能(IPS)を提供します。

Software Blade アーキテクチャは、柔軟性、管理性、実施する機能性、パフォーマンス、コストなどお客様の環境における様々なセキュリティ・ニーズを満たすために開発された新しいアーキテクチャです。多くの環境で今までは、セキュリティ要件を満たすために複数のハードウェア、ソフトウェアを組み合わせるシステムを構築しなくてはならず、その導入、運用コストの増大に悩まされてきましたが、本製品では、あらかじめ準備されている 20 種類以上の Software Blade から、導入環境が必要とするセキュリティ機能だけを選び出し、独自のセキュリティ環境を容易に構築できます。また、導入開始後にセキュリティ機能の拡張を行う場合でも、Software Blade アーキテクチャであれば、新たなハードウェアの増設・設置を行うことなく機能をシステムに追加することができるので、導入コストや運用コストを大幅に削減することが可能になります。

Check Point R70 で新たに紹介された IPS Software Blade は、ダイナミックな IPS 管理および既存の IPS 製品では実現が難しいマルチ・ギガビットのパフォーマンスと業界で最も包括的で幅広い保護を実現します。IPS の専門家でないセキュリティ管理者でも簡単に利用できるモードおよび、拡張されたより綿密な IPS 運用などさまざまなシナリオで活用でき、今日の脅威に対し、セキュリティとパフォーマンスを犠牲にすることなく企業システムを効率よく保護します。

また、R70 が持つ柔軟性により、チェック・ポイントのゲートウェイ製品をご利用中の全てのお客様が、新しい IPS 技術を簡単に利用することを可能にします。

チェック・ポイントの製品担当バイスプレジデントであるドリット・ドール博士(Dr. Dorit Dor)は「我々は R70 で、Software Blade アーキテクチャによる、フレキシブルで拡張性に優れたネットワーク・セキュリティを構築する新たな手法を提案します。また、R70 の革新的な IPS Software Blade は、高い精度、比類なき脅威コントロール、最高レベルのパフォーマンスにより、事前かつ精密な防御を実現するセキュリティ・ゲートウェイの構築を可能とします。」と述べています。

製品の主な特徴

- 製品名:「Check Point R70」
- Software Blade アーキテクチャの採用で、導入コストを大幅削減しながらセキュリティ機能を思うままに強化可能
- 新しい IPS Software Blade では、クライアントからサーバ、OS の脆弱性、マルウェア／ワーム感染及びその他に対する幅広い防御を IPS が統合されたファイアウォール機能とあわせて最大 10Gbps を誇るシステム・パフォーマンスで実現
- 新たな IPS イベント解析 Software Blade の時系列ビュー、多次元ソート、コンフィデンス・インデックス機能により、重要なデータのリアルタイムかつ集中的な解析、また、ビジネス・ビューからフォレンジック・レベルまで解析レベルを瞬時に掘り下げ詳細な情報を理解することが可能
- プロビジョニング管理 Software Blade は、迅速な導入展開を目的とした単一の管理コンソールによりチェック・ポイントのセキュリティ・デバイスの集中化された管理やプロビジョニング機能を提供

調査会社 IDC のネットワークおよびエンドポイント・セキュリティのアナリストであるアンドリュー・ハンソン (Andrew Hanson) 氏は、「IDC は、よりコスト効果の高いソリューションの要求と現在の経済状況によって急速に高まる動向において、機能と導入展開の両面にわたり、より柔軟性を提供するセキュリティ製品の次世代に期待しています。チェック・ポイントの新しい Software Blade アーキテクチャは、それぞれの企業特有の環境に最適なセキュリティが実現するカスタマイズ・オプションと重要な柔軟性を提供します。さらに、Software Blade のモジュラ・アプローチは、ハードウェアのアップグレード、ファームウェアまたはドライバのアップグレードを必要とすることなく、ダイナミックに導入展開ができ、コスト削減の利点も提供できます」と述べています。

価格と出荷時期

チェック・ポイント R70 は、近日出荷が開始される予定です。チェック・ポイント正規販売代理店および取り扱い代理店を通じてご購入いただけます。

チェック・ポイントのパートナーについては、<http://www.checkpoint.co.jp/> をご覧ください。

Check Point Software Technologies Ltd.について

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ・リミテッド (<http://www.checkpoint.com/>) は、インターネット・セキュリティにおけるトップ企業として、変化し続けるお客様のビジネス・ニーズに応じてカスタマイズ可能なトータル・セキュリティ・ソリューション群を提供しています。統合されたゲートウェイ、単一エージェントによるエンドポイント、および単一の管理アーキテクチャで構成されるこのトータル・セキュリティ・ソリューション群の組み合わせは、企業向けファイアウォール、パーソナル・ファイアウォール/エンドポイント・セキュリティ、データ・セキュリティ、およびVPN市場におけるリーダーシップと技術革新に基づく独自性を備えています。

チェック・ポイントは、情報セキュリティの分野のみに注力するセキュリティの専門企業です。チェック・ポイントは、NGX プラットフォームを通じて、企業ネットワークおよびアプリケーション、リモート・ユーザ、支店・支社環境、およびパートナー各社のエクストラネットのビジネス通信およびリソースを保護する、統一されたセキュリティ・アーキテクチャを提供しています。また、業界をリードするエンドポイント/データ・セキュリティ・ソリューションである Check Point Endpoint Security 製品ラインナップを通じ、PC やモバイル端末に保存されている各種企業データや重要なデータの暗号化と保護を提供します。数々の受賞歴のあるチェック・ポイントの ZoneAlarm ソリューションは、世界中で何百万にも及ぶお客様の PC をハッカー、スパイウェア、および情報窃盗から未然に保護しています。現在、チェック・ポイント・ソリューションは、世界中のパートナー・ネットワークを通じて販売、導入、サービス提供されています。チェック・ポイントの顧客には、Fortune 100 社の全社と何万ものあらゆる規模の企業や組織が含まれています。

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズの全額出資日本法人、チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社は、1997年10月1日設立、東京都新宿区に拠点を置き、約30名の従業員を擁しています。

#####

©2003-2009 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.

Check Point, AlertAdvisor, Application Intelligence, Check Point Endpoint Security, Check Point Endpoint Security On Demand, Check Point Express, Check Point Express CI, Check Point のロゴ, ClusterXL, Confidence Indexing, ConnectControl, Connectra, Connectra Accelerator Card, Cooperative Enforcement, Cooperative Security Alliance, CoreXL, CoSa, DefenseNet, Dynamic Shielding Architecture, Eventia, Eventia Analyzer, Eventia Reporter, Eventia Suite, FireWall-1, FireWall-1 GX, FireWall-1 SecureServer, FloodGate-1, Hacker ID, Hybrid Detection Engine, IMsecure, INSPECT, INSPECT XL, Integrity, Integrity Clientless Security, Integrity SecureClient, InterSpect, IPS-1, IQ Engine, MailSafe, NG, NGX, Open Security Extension, OPSEC, OSFirewall, Pointsec, Pointsec Mobile, Pointsec PC, Pointsec Protector, Policy Lifecycle Management, Provider-1, PureAdvantage, PURE Security, puresecurity の logo, Safe@Home, Safe@Office, SecureClient, SecureClient Mobile, SecureKnowledge, SecurePlatform, SecurePlatform Pro, SecuRemote, SecureServer, SecureUpdate, SecureXL, SecureXL Turbocard, Security Management Portal, Sentivist, SiteManager-1, SmartCenter, SmartCenter Express, SmartCenter Power, SmartCenter Pro, SmartCenter UTM, SmartConsole, SmartDashboard, SmartDefense, SmartDefense Advisor, Smarter Security, SmartLSM, SmartMap, SmartPortal, SmartUpdate, SmartView, SmartView Monitor, SmartView Reporter, SmartView Status, SmartViewTracker, SMP, SMP On-Demand, SofaWare, SSL Network Extender, Stateful Clustering, totalsecurity のロゴ, TrueVector, Turbocard, UAM, UserAuthority, User-to-Address Mapping, UTM-1, UTM-1 Edge, UTM-1 Edge Industrial, VPN-1, VPN-1 Accelerator Card, VPN-1 Edge, VPN-1 Express, VPN-1 Express CI, VPN-1 Power, VPN-1 Power Multi-core, VPN-1 Power VSX, VPN-1 Pro, VPN-1 SecureClient, VPN-1 SecuRemote, VPN-1 SecureServer, VPN-1 UTM, VPN-1 VSX, Web Intelligence, ZoneAlarm, ZoneAlarm Anti-Spyware, ZoneAlarm Antivirus, ZoneAlarm Internet Security Suite, ZoneAlarm Pro, ZoneAlarm Secure Wireless Router, Zone Labs, Zone Labs のロゴは、Check Point Software Technologies Ltd. あるいはその関連会社の商標または登録商標です。ZoneAlarm is a Check Point Software Technologies, Inc. Company. その他の企業、製品名は各企業が所有する商標または登録商標です。本書に記載された製品は米国の特許 No.5,606,668、5,835,726、5,987,611、6,496,935、6,873,988、6,850,943、および 7,165,076 により保護されています。その他の米国における特許や他の国における特許で保護されているか、出願中の可能性があります。

《本件に関するお問い合わせ先》

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
マーケティング担当 佐藤

Tel: 03-5367-2500 / Fax: 03-5367-2501
Email: marketing_jp@checkpoint.com

広報代行 株式会社プラップジャパン
担当 小倉、落合

Tel: 03-4570-3191 / Fax: 03-4570-3189